

神経研究の進歩 第36巻 総目次

1992年(第1号～第6号)

数字は通巻頁数, () は号数

〔特集 脳白質の病態〕

ミエリン蛋白とその機能……………植村 慶一……	5(1)
ミエリン蛋白質の遺伝子発現とその調節機構……………	
有賀 純・池中 一裕・塩田 千代 御子柴克彦……………	14(1)
遺伝性脱髄モデルマウスにおける発症の機序……………衛藤 義勝……	27(1)
脳白質の血管 —その構築と形態について— ……………高橋 均・生田 房弘……	40(1)
脳白質出血における成因とその治療……………金谷 春之・黒田 清司……	51(1)
Binswanger 病と白質病変 —発症機序の考察—……………山之内 博……	60(1)
家族性若年性 Binswanger 病様 血管性白質脳症……………福武 敏夫・平山 恵造……	70(1)
脳白質病変の CT, MRI 坂本 祐二・平井 俊範・高橋 睦正……………	81(1)
オリゴデンドロサイトのウイルス感染……………奴久妻 聡一・長嶋 和郎……	90(1)
多発性硬化症の脳白質の生化学的特徴……………佐藤 修三……	98(1)
Leukodystrophy 研究の最近の進歩 辻 省次・近藤 類・小池 亮子 宮武 正……………	106(1)
白質病変の臨床と画像診断……………吉井 文均……	116(1)
神経疾患における白質病変とその病理学的問題点……………水谷 俊雄・山田 滋雄……	129(1)

〔特集 脳の死と神経細胞の死〕

発生過程での神経細胞死 ……………岡戸 信男・八木沼洋行……	173(2)
細胞培養からみた神経細胞の死と 個体の死……………金 承業……	184(2)
生理的細胞死の物質的背景 —脳神経系のプログラム細胞死	

と細胞死誘発因子を中心に—

……………三羽信比古……	190(2)
カルシウムと神経細胞死……………阿部 輝雄……	206(2)
無酸素, 無グルコース条件下の脳切片 における神経細胞の生存時間 —脳死判定における反射活動消 失の意味—……………岡田 安弘……	214(2)
脳虚血と神経細胞死 ……………桐野 高明・田村 晃……	225(2)
低エネルギーとくに低酸素, 低血 糖状態と神経細胞の Vulnerability ……………武田 茂樹・生田 房弘……	236(2)
乏血, 無酸素および低血糖に対す る視床下部と脊髄神経細胞の抵 抗性……………檜前 薫・生田 房弘……	261(2)
重症脳障害における頭蓋内圧と 脳循環動態 中沢 省三・横田 裕行・石郷岡 聡……	271(2)
脳の死と脳循環画像診断 上村 和夫・奥寺 利夫・百瀬 敏光……	282(2)
脳死切迫状態の脳波・誘発電位に よる機能的診断—経頭蓋超音波 ドプラ法による血流停止所見と の関連から—……………塩貝 敏之・竹内 一夫……	296(2)
脳の蘇生……………加納 龍彦・森岡 亨……	309(2)
「脳死」の神経病理学 ……………生田 房弘・武田 茂樹……	322(2)

〔特集 神経系の細胞骨格・細胞内情報伝達系〕

I. 細胞骨格 ヤリイカ巨大軸索における細胞 骨格の分化とその意義 新井 孝夫・市川 道教・松本 元……	355(3)
ニューロフィラメントのリン酸 化とその機能……………久永 真市……	364(3)
キネシンと細胞質性ダイニンの 構造と機能……………室伏 擴……	380(3)
神経再生と細胞骨格	

……………田代 朋子・小宮 義璋…	397(3)
神経系における細胞骨格蛋白の	
病的変化……………貫名 信行…	411(3)
Ⅱ. 細胞内情報伝達系	
受容体と細胞内情報伝達……………芳賀 達也…	420(3)
受容体の共役因子として機能する	
Gタンパク質……………飯利 太朗・堅田 利明…	432(3)
GTP 結合のモジュレーター	
……………中村 俊・服部 成介…	442(3)
神経組織におけるG蛋白質の	
局在	
浅野 富子・篠原 春夫・加藤 兼房…	454(3)
細胞内リン脂質代謝と情報伝達	
……………金保 安則・野沢 義則…	466(3)
プロテインキナーゼCの組織内	
分布と多様性……………吉原 千佳・田中千賀子…	476(3)
神経系における蛋白質磷酸化反	
応の意義……………宮本 英七…	489(3)
〔特集 脊髄疾患の画像診断〕	
序 論……………町田 徹…	537(4)
正常解剖	
脊椎および脊髄の正常放射線解剖	
(単純X線撮影, CT, 脊髄撮影)	
……………小林 直紀…	538(4)
脊髄血管造影の正常解剖	
佐々木泰志・町田 徹・白水 一郎…	551(4)
脊椎・脊髄 MRI による正常	
解剖……………前原 忠行…	555(4)
MR-angiography	
松沢 等・阿部 弘・宮坂 和男	
斉藤 久寿……………	564(4)
脊髄疾患	
脊椎外傷(すべり症も含む)	
蘆田 浩・中山 文枝・星川 嘉一	
竹中 直子・塚本 浩・作山 攜子…	573(4)
脊髄空洞症および奇形……………菅 信一…	584(4)
脊髄腫瘍	
井上 佑一・根本 裕・田代 敬彦	
望月 得郎……………	594(4)
脊椎・脊髄の炎症	
青木 茂樹・佐々木泰志・大久保敏之…	608(4)
脊柱管狭窄(靱帯骨化症を含む)	
の画像診断	
山下 康行・平井 俊範・高橋 睦正…	613(4)
椎間板疾患の画像診断……………宮坂 和男…	622(4)

脊髄の血管性病変

佐々木泰志・町田 徹・白水 一郎… 630(4)

脊髄脱髄, 変性疾患の画像診断

……………渡部 恒也・柳町 徳春… 639(4)

〔特集 神経系のプロテアーゼ・細胞接着・ガイド因子〕

I. 神経系のプロテアーゼ

神経系におけるタンパク分解の

意義……………杉田 秀夫・石浦 章一… 693(5)

ミクログリアの分泌性プロテ

アーゼ……………中嶋 一行・高坂 新一… 697(5)

細胞骨格の分解とプロテアーゼ

……………木南 英紀・上野 隆… 709(5)

システインプロテアーゼと神経

細胞死……………内山 安男… 718(5)

アルツハイマー病アミロイドタ

ンパク質のプロセッシング

丸山 敬・田川 一彦・石浦 章一

吉川 和明…………… 730(5)

リソゾーム病における酵素分子

のプロセッシング異常……………鈴木 義之… 741(5)

細胞障害性 T 細胞と筋障害—

パーフォリンとグランザイム

に関連して—

中村浩一郎・織茂 智之・荒畑 喜一

石浦 章一…………… 750(5)

脱髄とカルパイン

……………柳澤 勝彦・宮武 正… 760(5)

Ⅱ. 細胞接着・ガイド因子

交感神経ガイド因子……………黒見 坦… 768(5)

脊髄運動ニューロンのガイドン

ス因子……………田中 英明… 780(5)

視神経ガイド因子……………藤澤 肇… 788(5)

細胞接着因子としての免疫グロ

ブリンスーパーファミリー

—神経細胞接着因子 L1 を中

心として—

……………三浦 正幸・植村 慶一… 797(5)

小脳発生と接着因子

……………湯浅 茂樹・川村 光毅… 813(5)

突起伸張抑制因子

……………渡辺 栄治・村上富士夫… 829(5)

〔特集 第27回脳のシンポジウム〕

1. 開会の辞……………浅野 孝雄… 881(6)

2. 挨 拶 ……萬年 徹… 882(6)
3. 虚血脳における血流変化にか
かわる諸因子
 - 1) アラキドン酸代謝物による内
皮傷害
土屋 雅春・黒瀬 巖・鈴木 秀和… 883(6)
 - 2) 虚血脳における白血球の関与
小暮 久也・志賀 裕正・小野寺 宏… 889(6)
 - 3) 内皮細胞由来の脳血管弛緩因子
および収縮因子
佐々木富男・伊藤 正一・井出 勝久
中込 忠好… 895(6)
 - 4) 神経性調節機序…島津 邦男… 902(6)
 - 5) プロテインカイネース C
(PKC)依存性収縮と脳血管攣縮
松居 徹・多久和 陽・浅野 彦雄… 911(6)
4. アラキドン酸代謝と神経伝達
 - 1) シナプスの可塑性における一
酸化窒素・アラキドン酸の
役割……渋谷 克栄… 918(6)
 - 2) ラット小脳プルキンエ細胞の
Ca 依存性K電流のアラキ
ドン酸による調節
高木 博・桐野 豊・吉岡 亨… 926(6)
 - 3) 脳における 12-リ ポキ シゲ
ナーゼの局在とその性質
……西山 誠・渡邊 高志… 933(6)
 - 4) 脳におけるプロスタグランジ
ン受容体の局在とその作用
……渡辺 恭良・松村 潔
尾上 浩隆・渡辺由美子… 942(6)
5. ミトコンドリア・サイトパ
チー研究の進歩
 - 1) ミトコンドリア・サイトパ
チーの臨床病理……埜中 征哉… 952(6)
 - 2) Kearns-Sayre 症候群
……中瀬 浩史… 961(6)
 - 3) ミトコンドリア脳筋症の遺伝
子解析— MERRF, MELAS
……宝来 聰… 967(6)
 - 4) 加齢とミトコンドリア DNA
異常……田中 雅嗣… 976(6)
 - 5) ミトコンドリア DNA 情報
の発現調節……太田 成男… 988(6)
6. 生体リズム(睡眠・覚醒)障
害の臨床

- 1) ヒトの生体リズム：概日リズ
ムの同調機序
本間 研一・本間 さと・勝野由美子
兼松 伸枝… 993(6)
- 2) 生体リズムの異常を特徴とす
る睡眠障害……菱川 泰夫…1001(6)
- 3) 加齢と生体リズム—痴呆老年
者の睡眠リズム異常とその
新しい治療—…大川 匡子…1010(6)
- 4) 精神疾患と生体リズム…山口 成良…1020(6)
- 5) 発達過程にみる睡眠・覚醒リ
ズムの異常……瀬川 昌也…1029(6)
7. 閉会の辞 ……佐野 圭司…1041(6)

〔追 悼〕

- 故 沖中重雄先生を偲ぶ
追悼文(沖中先生のご逝去を悼む)
……杉田 秀夫… 649(4)

〔綜 説〕

- 呼吸制御回路の形態と機能
……大竹 一嘉・江連 和久… 651(4)
- 脊髄空洞症の病理……
檜前 薫・大浜 栄作・小柳 清光
生田 房弘… 841(5)
- 半規管系前庭神経核ニューロンの
神経機構……内野 善生・井須 尚紀… 854(5)

〔原 著〕

- プリオン蛋白遺伝子変異が証明さ
れた Kuru 斑を伴う伝播性慢
性壊死性脳症の 1 例
—CJD と Gerstmann-Sträussler-
Scheinker 病との関連において—
川田 明広・小田 雅也・林 秀明
三輪 隆子・加藤 修一・田邊 等… 145(1)
- Restless Legs 症候群を合併した
腎透析中の患者に出現する Periodic
Movements in Sleep (PMS)
の発現様式
江川 功・稲谷 貴義・杉田 義郎
手島 愛雄・菱川 泰夫… 158(1)
- シナプス小胞特異蛋白抗体を用い
た Greutzfeldt-Jakob 病脳の免
疫組織化学的研究
若林 孝一・柿田 明美・高橋 均

(4)

小幡 邦彦・生田 房弘…………… 503(3)
アルツハイマー病脳, 老年者脳に
おける neuropil threads およ
び神経原線維変化の免疫細胞化
学—共焦点レーザー走査蛍光顕
微鏡による観察—……………岩坪 威… 511(3)
Spinocerebellar ataxia 1 (SCA 1)
の臨床病理学的研究 (1)—その
位置づけと遺伝性オリープ・

橋・小脳萎縮症の問題点—……
岩淵 潔・池田 輝明・高畑 直彦
柳下 三郎・小阪 憲司…………… 665(4)

書 評

神経心理学と病巣解析……………真柳 佳昭… 682(4)
モダンコンセプト 神経内科 2 ……廣瀬源二郎… 683(4)
電子顕微鏡による神経病理学のす
め……………三好 功峰… 684(4)